

博多町家「ふるさと版」

記念号



紡ぐ未来、語る歴史

最大の試練福岡西方沖地震

— ふるさと館30周年に寄せて —

館長 長谷川法世

「博多町家」ふるさと館は、平成7年(1995年)8月に開設されました。この年はユニバーシアード福岡大会が開催され、市内は世界中の選手たちの熱気にあふれました。マリンメッセ福岡も大会会場のひとつとして同じ年に開館しています。

ひとくちに30年といってもいろいろなことがありました。元気な福岡市は日日は発展の都市ですから、その後のJR博多シティ開業からビッグバンまで銀河の星ほどエピソードにあふれています。けれどここではすべてをお話する余裕がないので、最大の試練だった平成17年(2005年)3月の福岡西方沖地震をおもいだしてみます。

この地震ではテレビ塔や醤油工場の煙突が折れたり、中洲の飲食店のキープボトルが全部割れたりとか、市内各所でたいへんな被害がありました。結論からいいますと、さいわいにもふるさと館はほぼ無傷で済みました。町家棟の吹き抜けの小屋組み(梁見せといいます)を見あげて、何本かにひびがたくさんはいつているのを見つけたときには息がつまりました。のちの専門家の検査で芯は無傷でまったく問題がないということがわかり、ようやく安心しました。女性スタッフのひとり、地震のとき軒下で両手をついてしゃがみこんでいたそうですが、頭上の軒がぐにゃぐにゃと波打っておそろしかったと語りました。それでも地震がおさまると軒はもとの姿にもどり、瓦のかけらひとつ落ちていなかったといいます。あらためて日本の伝統建築のすばらしさにおどろきました。

しかし、わたしが知っていた市内の3つの土蔵は、みんな損傷し修理不能で取り壊されました。修繕しようにも、必要な何種類もの土が入手困難なうえ土蔵建築技術の継承者が福岡にはいないということでした。

町家に関して平成2年(1990年)に福岡市教育委員会が市内全域の悉皆調査を実施し、355棟を調査しました。博多区には72棟がありました。その中の三浦家町家が市民の署名活動もあって保存されることとなったのです。昔の博多の町は同じづくりの町家だけだったのですが、さて、現在博多に残っているのは、わずか数軒にすぎません。

一般に伝統建築で保存されるのは、お城や豪邸や、歴史的知名人の家などがほとんどで、「博多町家」ふるさと館のように一般的な庶民の町家が保存されているのはまれなことです。

「博多町家」ふるさと館は、時の流れを止め昔懐かしい景色を保存してまいります。これからの30年もよろしく願っています。

休館日

第4月曜日(祝休日の時は翌平日)

開館時間

展示棟・町家棟…10:00~18:00

※7月~9月 9:30~17:30 ※展示棟入館は閉館時間の30分前まで

問い合わせ・申し込みなどはこちらへ

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町6-10
(櫛田神社 正門鳥居前)

TEL:092-281-7761 FAX:092-281-7762

E-mail: furusatokan@hakata-machiya.com

開館時間: 10:00~18:00(入館は17:30まで)

※7~9月はサマータイム

9:30~17:30(入館は17:00まで)

休館日: 第4月曜日(祝休日の時は翌平日)

年末(12月29日~31日)

入館料: 展示棟のみ 一般/200円(20人以上は150円)
中学生以下/無料 ※65歳以上(福岡市・北九州市・熊本市・鹿児島市内居住者)、または心身障がい者の方は無料です。
(証明できるものをお持ちください)

ホームページ: <https://hakatamachiya.com>



ホームページ



Instagram

イベントスケジュール

開館30周年記念
「秋の収蔵品展」

ふるさと館が30年間収集してきた昔の道具や着物、工芸品などを一挙公開。

【会期】

【第一部】
9/23(火・祝)~10/26(日)

【第二部】
10/28(火)~11/24(月・祝)

博多町家古文書講座
—初級者コース—

10月から12月にかけて初級者コースと中級者コースの古文書講座を開講。比較的わかりやすいくずし字を受講生とともに読んでいく。

【日程】 10/9(木)、10/23(木)、11/13(木)

【時間】 14:00~15:30

【料金】 三回3000円

(市内在住で65歳以上の方は2400円)

【応募方法】 ふるさと館HP参照

博多旧市街フェスティバル

様々な体験・飲食・音楽などお得に楽しめる催事が盛りだくさん。

【期間】 10/17(金)~11/9(日)

博多灯明ウォッチング2025

秋の博多の夜を数万個の灯明で幻想的に照らし出します。当館も柔らかな明かりをともしイベントを盛り上げます。是非お越しください。

【期日】 10/18(土)

30周年記念
博多の餅つき

従来の博多の餅つきに30周年の記念特別感を醸し出して実施します。ごうご期待!!

【日時】 2026年2/15(日)

※時間未定

アクセス

空港から

- ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
- ◆ タクシーで15分

JR博多駅から

- ◆ 徒歩15分
- ◆ タクシーで5分
- ◆ 地下鉄【七隈線】櫛田神社前駅下車、徒歩4分
- ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分

天神から

- ◆ 地下鉄【七隈線】櫛田神社前駅下車、徒歩4分
- ◆ 地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
- ◆ 西鉄バス(博多駅行き) 祇園町バス停下車、徒歩4分
- ◆ 西鉄バス(博多駅行き) キャナルシティ博多前下車、徒歩3分

車

- ◆ 福岡都市高速環状線「呉服町ランプ」を出て1.5km、もしくは「千代ランプ」を出て約1.2km

※専用駐車場がございませんので、お近くのコインパーキングもしくは公共交通機関をご利用ください



「博多町家」 ふるさと館 祝！30周年記念企画 思い出写真館



お知らせ

30周年企画 ① 参加者募集

「明治博多往来図会」練り歩きと触れ売りを再現



明治・大正時代の博多の生活を描いた絵がリアルに動き出します。絵の中の人物に扮した姿で、川端商店街を練り歩き、当館前で「触れ売り」や昔あそびがよみがえります。

日にち	11月1日(土)	募集人数	50名程度
練り歩き	14時～16時(受付13時)	※時間は予定	
提灯づくり	10時～17時	場所:「博多町家」ふるさと館	
触れ売り再現	16時半～17時半	場所:「博多町家」ふるさと館	

30周年企画 ②

竹あかりが灯す旧市街の記憶

動画生成AIが織りなす演出。現代から明治・大正時代の旧市街に時間が巻き戻ります。

観覧無料

期間	10月17日(金)～11月9日(日)
日中演出	10時～18時
夜間演出	18時～20時 (休日前は21時まで)

